

たすきがけ研修医受入プログラム

当院は、名古屋市立大学病院と愛知医科大学病院を基幹型病院とするプログラムの協力型病院となっており、基幹型病院研修医の希望があれば、いつでも受け入れる体制になっている。

研修プログラムの概要

診療科を越えた無駄のない臨機応変な研修であり、検査や手術は実際に施行させて覚える参加型研修である。

研修実施責任者

院長補佐・循環器内科部長・地域医療連携室室長 石原 慎二(総括責任者)
院長代行・副院長・内科部長 早川 潔

研修医受入人数

基幹型病院と協議のうえ決定するが、受入数は当院研修医数を考慮したうえで決定する。

研修スケジュール

1. 名古屋市立大学病院 臨床研修病院群 医師臨床研修プログラム2(協力型病院連携研修)

1年次	24週以上	12週以上	4週以上	4週以上	4週以上
	内科	救急部門(整形・麻酔・脳外)	小児	外科	産婦人科

- ※ 1年次12ヶ月間、蒲郡市民病院 常勤任期付職員として採用し、給料等は蒲郡市民病院が支払う。
2年次は名古屋市立大学病院の職員となる。
- ※ 上記内容はモデルケースであり、実際のスケジュールは研修医と相談の上決定する。
- ※ 選択科目を希望する場合は、皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科等から選択する。
- ※ 各科のプログラムは、当院基幹型研修医と同じプログラムで研修する。

2. 愛知医科大学病院(一般コース) 卒後臨床研修プログラム

2年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
		選択科目										

- ※ 2年次、5月から9月までの5ヶ月間内、または10月から2月までの5ヶ月間内で、研修医の希望する期間、内科・外科・産婦人科のうちから研修医の希望する科目で受け入れる。
- ※ 各科のプログラムは、当院基幹型研修医と同じプログラムで研修する。
- ※ 身分は基幹型病院である愛知医科大学病院職員であるため、給料等は愛知医科大学病院で支給されるが、日当直は時間外手当として当院が支払う。